

# 登録項目

# 項目の全体像

- 登録担当者情報・・・認知症介護指導者の情報
- 対象者情報・・・認知症の人の要介護度等
- 施設情報・・・人員配置や理念など

初回登録  
＋  
変更時  
のみ

- 認知症の人の状態（ADL、IADL、認知機能、原因疾患等）

前評価  
のみ

- エンドポイント（BPSD、QOL、意欲）
- 認知症の人に対して実施するケア等（役割や人間関係等の生活状況）
- BPSDとBPSDに対するケア★

前評価  
＋  
後評価

# 調査で対象とするBPSDの分類

食事	(食事以外の)BPSD
① 食事を食べるのを拒否する	① 暴力・暴言
② 食事が食べ始められない(拒否しているわけではない)	② 介護への抵抗(服薬拒否, 送迎車に乗らないなど)
③ 食事が途中で止まる	③ 大声をあげる, 机をたたく等
④ 食べたことを忘れて食事をほしいと訴える	④ 本人は出たいのに部屋から出てこない
⑤ 必要以上に食事を食べようとする	⑤ もの盗られ妄想
⑥ 他の人の食事を食べようとする	⑥ 収集
⑦ 食事介助を拒否する	⑦ 焦燥・繰り返し(電話したい, 薬をください, 同じものを何度も買うなど)
⑧ 食べられないものを食べようとする	⑧ その他
⑨ その他(食事等に関する課題)	

# BPSDスポット調査におけるケアの分類

	ケアの分類	前評価	後評価
1	人数調整	<p>① 実施予定の有無を評価</p> <p>*さらに詳細に設定されたケアの項目を☑していく形式</p>	<p>①実施率 ②有効性を評価</p> <p>*実施を予定したケアのみ評価</p>
2	安定化		
3	席の位置調整		
4	居室環境の調整		
5	記憶補助環境		
6	刺激調整		
7	会話内容の調整		
8	会話方法		
9	会話状況		
10	接触量		
11	非言語的交流		
12	生活行為		
13	趣味活動		
14	外出支援		
15	医療		
16	アセスメント		
17	他者との関係支援		
18	家族関係支援		
19	ケア方法の統一		
20	職員の調整(専属, 性別, 変更等)		
21	その他		

ログイン

### 登録者ID

登録担当者  
情報

法人種別、資格、経験、  
職位、年齢等

### 対象者情報

対象者  
基本情報

性別・年齢・  
利用サービス・自立度・  
介護度

### 施設ID

登録者  
登録施設情報

法人種別、サービス種  
別、登録者情報等

住環境(物理  
的環境)

居室形態・家屋の  
形態等

スタッフ教育  
研修

実践研修修了者等

説明会 デモ 様：前回登録/更新日 2017/10/04 [削除]

登録/確認

未登録

## ①認知症の人の状態

1.ADL Barthel Index	2.IADL Lowton& brody	3.身体・栄養 視力・聴力・ 身長・体重等
4. 認知症の 診断と治療 原因疾患・ 現病・薬等	5.改訂版長谷川式 簡易知能評価 スケール HDS-R	6.認知症の 症候 DDQ43(疾患別 の特徴的症候)
7.認知症の 自覚 SED-11Q・自覚	8.抑うつ GDS5	9.せん妄 DST
10. 認知症の人の 発言・行動 センター方式 C-1-2		

## ②エンドポイント

1.BPSD NPI-Q
2.意欲 Vitality Index
3.認知症の人の QOL Short QOL-D
4.認知症の人の QOL(選択) QOL-AD

## ③認知症の人に対して実施するケア等

1.過去1週間の 生活 役割等
2.人間関係 家族・友人・ スタッフ
3.療法 リハビリ(選択) 種別・回数・時間 等
4.ポジティブケア (選択) 自由記述

## ④生活障害・BPSDケア項目

1.食事に関する BPSD
2.暴力・暴言、介 護への抵抗、大 声をあげる、机 をたたき、部屋 から出てこない
3.ものとり、収 集、焦燥、繰り 返し、その他

④ 生活障害・BPSDケア項目

1. 食事に関する BPSD

2. 暴力・暴言、介護への抵抗、大声をあげる、机をたたく、部屋から出てこない

3. ものとりられ、収集、焦燥、繰り返し、その他

### 食事能力

嚥下能力	咀嚼能力
座位能力	発話能力
摂取時間	摂取量

### 課題選択

- 食事を食べるのを拒否する
- 食事が食べ始められない
- 食事が途中で止まる
- 必要以上に食べようとする
- 食べたことを忘れ食事を欲しいと訴える
- 他の人の食事を食べようとする
- 食事介助を拒否する
- 食べられないものを食べようとする
- その他

### 課題別状態

具体的状態	重症度
頻度	介護者が想定している原因

### 実施するケア

人数調整	非言語的交流
安定化	生活行為
席位置調整	趣味活動
居室環境調整	外出支援
記憶補助環境	医療
刺激調整	アセスメント
会話内容調整	他者との関係支援
会話方法	家族関係支援
会話状況	ケア方法の統一
接触量	職員の調整
	その他のケア

上記と同様の構造

同様の内容を後評価

実施率と有効性を後評価

これらの登録の結果明らかにしたいこと  
例えば「食事を拒否する」人の場合

「食事を拒否する」が改善した事例を抽出



- 「食事を拒否する」原因はどのような原因が多いか
  - ⇒ 認知症の重症度 × 「食事を拒否する」原因
- 「食事を拒否する」認知症の人には、どのようなケアが実施されているか
  - ⇒ 認知症の重症度 × 実施されているケア